

## 神戸大学大学院国際文化学研究科『国際文化学』 執筆要領

### 1. 投稿資格

本誌に投稿できる者は以下のいずれかに該当する者とする。ただし、共著論文の筆頭著者が下記の要件を満たす場合、筆頭著者以外についてはこの限りではない。

- (1) 研究科（前期課程・後期課程）学生
- (2) 研究科（前期課程・後期課程）修了生
- (3) そのほか編集委員会が認めた者

上記の（１）および（２）に該当する場合は、投稿に先立ち、主指導教員の許可を得るものとする。

### 2. 原稿要件

本誌に投稿できる原稿は、国際文化学および関連分野に関するものとする。他誌において発表済みないし発表予定（応募中も含む）のものは投稿できない。

### 3. 原稿区分

投稿原稿は、以下のいずれかとする。

- (1) 論文：学術論文にふさわしい内容と形式を伴うもの。
- (2) 研究ノート：上記に準じ、問題提起や新しい研究領域の提示等を行うもの。

### 4. 使用言語

日本語または英語とする。母語以外の言語で執筆する場合は、投稿前に、著者の責任により、必要な校閲を受けることとする。

### 5. 原稿書式

(1) 本誌に投稿する原稿は、研究科ウェブサイト上の『国際文化学』（オンラインジャーナル）のページに用意される最新版のテンプレートをダウンロードして作成する。テンプレートに設定された行数、字数、フォント等を変更した原稿は受理されない。

(2) 原則として横書きとするが、専門分野において縦書きが標準となっている場合に限って縦書きによる執筆を認める。

### 6. 原稿分量

論文は 10 ページ以上 25 ページ以内、研究ノートは 10 ページ以内とする。ページ数には、参考文献・図表・注などを含む。

## 7. 原稿体裁

原稿は、原則として、題名、著者名、要旨 (Summary)、キーワード (Keywords)、本文、注 (Notes)、参考文献 (Reference)、参照資料 (Appendix) から構成されるものとする。執筆に当たっては、原則として、下記の指針に準拠すること。

### (1) 題名

日本語原稿の場合は、冒頭に日本語による題名を記載し、その下に英語による題名を記載する。英語原稿の場合は、冒頭に英語による題名を記載し、その下に日本語による題名を記載する。いずれの場合もサブタイトルの併記にはダッシュを使用する。英語による題名を記載する場合、前置詞、接続詞、冠詞を除く全ての単語の語頭を大文字で記す。ただし、4文字以上の語は前置詞等であっても全て語頭を大文字にする。

### (2) 著者名

日本語原稿の場合は、日本語で氏名を記載し、その下に英語による氏名を記載する。英語原稿の場合は、英語で氏名を記載し、その下に日本語 (漢字または片仮名) で氏名を記載する。英語による氏名記載の際、姓は全大文字とし、姓・名の順序は著者が判断する (例: YAMADA Hanako / Hanako YAMADA)。

### (3) 要旨

日本語原稿では英語、英語原稿では日本語で記載することを推奨する。ただし、本人の判断により、原稿執筆言語と同じ言語で記載することも認める。英語の場合は 200～250 words、日本語の場合は 400～500 字とする。

### (4) キーワード

3～5 語。キーワード間は日本語論文は「、」で、英語論文は「,」でつなぐ。

### (5) 本文

章題は I、II・・・、節題は 1、2・・・とする。章題は前後 1 行空け、節題は前 1 行空けとし、いずれも左寄せとする。

図版・写真などを使用する場合は、各自で原稿の当該箇所に挿入する。カラー図版・写真の使用を認める。図・表のキャプション等の体裁はそれぞれの分野で標準的とされる参考文献書式に従うこと。

本文最終行の次行に、右寄せで、著者の身分ないし所属を丸ガッコ書きで記載する。研究科在籍者の場合は (神戸大学国際文化学研究科博士後期課程学生)、(神戸大学国際文化学研究科博士前期課程研究生) など、修了生の場合は (\*\*大学教授)、(\*\*大学非常勤講師) などとする。英語原稿の場合は同様の内容を英語で記載する。

#### (6) 注

とくに必要な場合に限って記載する。脚注ではなく後注とし、本文中には上付きで通し番号<sup>1)</sup>、<sup>2)</sup>をふる。

#### (7) 参考文献

著者の責任により、それぞれの分野で標準的とされる参考文献書式に厳密に合致させること。原則として下記の情報を含むこととする。

【学術誌掲載論文】執筆者の姓および名（のイニシャル）、刊行年、論文タイトル、ジャーナルのタイトル・巻号、当該論文の掲載ページ数

【単行本】執筆者の姓および名（のイニシャル）、刊行年、書籍タイトル、出版社（とその所在地）

【単行本所収論文】執筆者の姓および名（のイニシャル）、刊行年、論文タイトル、書籍編者の姓および名（のイニシャル）、書籍タイトル、当該論文の掲載ページ数、出版社（とその所在地）

#### (8) 参照資料

とくに必要な場合に限って記載する。

### 8. 提出原稿形態

原稿は、図・写真などを含めて、そのまま印刷できる形で完成させ、PDF形式で提出する。ただし、採択が決定した場合は、PDFとWordの2種類の形式で提出する。

### 9. 原稿提出方法

研究科ウェブサイト上の「オンラインジャーナル『国際文化学』」のページから投稿チェックシートをダウンロードし、必要事項を記入する。投稿用原稿ファイルは、マスキング処理を行い（執筆者氏名を完全に消去。墨塗りではなく削除。※消すのは文字だけで、氏名が入るべき行は空行のままにしておく）、PDF形式で保存する。原稿ファイル（PDF）および投稿チェックシートファイルを紀要編集委員会メールアドレス（inseikiyo@gmail.com）宛に送信する。印刷媒体での提出は受理しない。投稿が正常におこなわれた場合、自動返信での確認メールが送信される。連絡がない場合、投稿者より上記編集委員会アドレス宛に確認を求めることとする。

### 10. 修正原稿提出方法

審査の結果、修正条件付き採択となった場合は、研究科ウェブサイト上の「オンラインジャーナル『国際文化学』」のページに用意される修正報告書をダウンロードし、必要事項を記入して、修正済み論文とともに所定の期限までに紀要編集委員会メールアドレス（inseikiyo@gmail.com）宛に送信すること。

#### 1 1. ウェブサイト

原稿執筆および投稿に関する最新の情報は、研究科ウェブサイト上の「オンラインジャーナル『国際文化学』」のページにおいて確認するものとする。

#### 1 2. 執筆要領の変更・改訂

この要領の改正は、編集委員会が行う。投稿者は、原稿募集時点での最新版の執筆要領ならびに原稿テンプレートに基づいて原稿作成を行うこととする。

#### 付記

この要領は、平成 28 年 8 月 1 日から施行する。